

第九回 是川縄文の里 俳句大会 中・高校生の部 入賞作品一覧

(以下、敬称略)

第一位	☆ 縄文の旅連れ立つは蟻の列	八戸高	2年	七役	歩希
第二位	☆ 菊の里土偶とともに守りゆく	明治中	2年	及川	明李咲
第三位	秋の暮一人ぼちな国宝よ	根城中	2年	清澤	雅穩
第四位	縄文の歴史ある里柿の里	是川中	1年	風張	健斗
第五位	春の風土偶の頬を撫でている	根城中	2年	山下	結椰
第六位	☆ すすき揺れ土偶を祀る縄文人	是川中	1年	中居	凜穩
第七位	土器をみて思い出増える夏休み	根城中	2年	上平	耀太
第八位	神無月産の祈願は土偶の務め	向陵高	2年	高橋	愛子
第九位	遠い秋何度も作つた枯れ葉お面	向陵高	1年	野田	愁斗
	秋の風銀杏香るいちようの木	根城中	2年	小笠原	芽衣
	セミ鳴く日土器をさわつて昔思う	是川中	2年	中居	凜琥
	爽やかな大きな田んぼ大空と	根城中	2年	久慈	夢來
	是川の歴史が見せる夏の祭事	根城中	2年	類家	羽琉人
	またたくは里で輝く秋蛭	是川中	2年	松橋	來翔
	松ぼっくり縄文土器と似てる色	向陵高	1年	釜谷	聖來
	縄文の美しい空夏休み	根城中	2年	谷岡	壘
	猛暑でもいのり続ける合掌土偶	根城中	2年	古川	晃子
	さくら咲き土偶の心あざやかに	根城中	2年	松橋	結依
第十九位	除夜の鐘親子土偶の頬寄りし	第三中	3年	七役	和歩
	夏に聞く是川遺跡の虫の声	根城中	2年	久慈	悠仁
	土器で煮る食事の山菜春の香	根城中	2年	西澤	凜
	青嵐にゆれる水田海のように	是川中	2年	中居	れいな
	縄文土偶夏でもすずしい顔してる	是川中	1年	山口	敬愛
	ヒマワリや自然豊かな是川遺跡	向陵高	2年	松川	和馬
	合掌土偶春の訪れ祈つてる	根城中	2年	赤坂	彩桜衣
	是川の自然の恵みウドやミズ	根城中	2年	小輕米	奏和
	走り出す黄金の稲に囲まれて	是川中	2年	西塚	煌真
	是川に吹き渡りゆく青嵐	是川中	1年	武部	晟剛
	夏休み合掌土偶に会いに行こう	明治中	1年	佐々木	凌駕
	冬景色合掌土偶めんこいね	根城中	2年	三上	陽新
	いのるんは表情変えず夏耐える	根城中	2年	貝守	祐咲
	縄文よ夏風ともに未来へと	是川中	3年	中居	みやび

中・高校生の部 応募数 191句

〔選者〕郡川宏一、佐々木雅翔、吉田千嘉子

☆ ……各選者が選んだ天位(色紙を贈呈)